

「いいとこさがし（じぶんも人もすきになる方法）」

「今日は、1年生が初めて月曜朝会に参加しました。609名、桃五小全員での初めてのあいさつです。

みんなで元気に朝の挨拶をしましょう。おはようございます。（おはようございます。）」

今、6年生のお話にあったように、今日は、一年生が月曜朝会の仲間入り。これでぴかぴかの1年生から6年生までそろいました。緑のきれいな芝生の校庭、気持ちがいいですね。

1年生も2年生も3年生も、4年生も5年生も6年生もぴかぴかです。みんなの元気が伝わってきます。

さて、今日は「いいとこさがし」という話をします。毎年1年の初めの今頃に、この話をします。

皆さんには誰にも、とてもいいところと、ちょっとなおした方がいいな、というところとがあります。桃五小の皆さんにも609人、609通りのいいところがあるのです。でも、なかなかそのいいところを活かせないで、自分のいいところに気づいていない人もたくさんいるような気がします。だから、しぜんと自分のことが好きにはなれず、失敗したりうまくいかなかったりしたことばかりを気にして、つつい元気が出なかったりしていませんか。

さて、毎朝、東門の外の「ももごがくどう」の前で皆さんを迎えていると、中瀬中に通う中学生にもたくさん会います。桃五の卒業生も、そうではない子たちにも、みんなに挨拶しどの子からも挨拶が返ってきます。そんななかにはついこの間まで桃五の6年生だった1年生もたくさん通ります。ピカピカの中学一年生です。

そんな新学期の朝、もと桃五小の男の子がいかにも楽しそうに元気に挨拶をして通り過ぎていきます。中瀬中の方向ではなく他の中学校のようで西の方角に歩いていきます。『あれれ…。』元気だなあ。いいことあったのかなあ。この子はあんまり挨拶の得意な子ではなく、笑顔も少ない子でした。ちょっと心配していたのですが、このところ笑顔で元気に挨拶して通り過ぎていきます。

そんな先週のある日、たまたまその男の子のお母さんとお会いしました。朝の元気な様子を話すと、最近、中学校の先生に「君は優しい素敵な子だね。」とほめられたのだそうです。中学校の廊下で通りかかった女の子が、持っていた勉強道具をばらばらと落としてしまいあわてて拾っていたそうです。そこに通りかかったこの男の子が何も言わずに拾うのを手伝ってあげたのだそうです。その様子を見ていた先生が、「君は優しい素敵な子だね。」と褒めてくれたそうです。荷物を散らかして困っていた女の子も、『ありがとう。』と心をこめて言ってくれたのだそうです。どうも、それから彼は変わったようです、という話でした。

この子はちょっとあばれんぼうさんで、よく男の子とけんかをしては叱られることが多い子でした。ですから、もともと元気な子なのに、しょんぼりしていて自信のなさそうなことが多く、心配していました。

これまでは、叱られたり文句を言われたりすることが多かったけれど、ちょっとしたことで先生から褒められ、女の子からもお礼を言われ、とってもうれしかったのでしょね。

だから、きっと、優しい気持ちで人と接することができるようになり、毎朝笑顔で挨拶ができたのでしょ。

どんな人も、いいところをほめられると、元気が出て、優しさに包まれて、いつの間にか

なおさなければいけないところまで良くなってしまうものです。

お互いにいいところ探しをして、自分も人も大好きになれるといいですね。

そして、自分のいいところを大切にしてみてもっともっと素敵な子になってほしいと思います。

その逆に、悪いところさがしをしたら、きっと不満ばかりで楽しいことなんてなくなってしまいそうです。

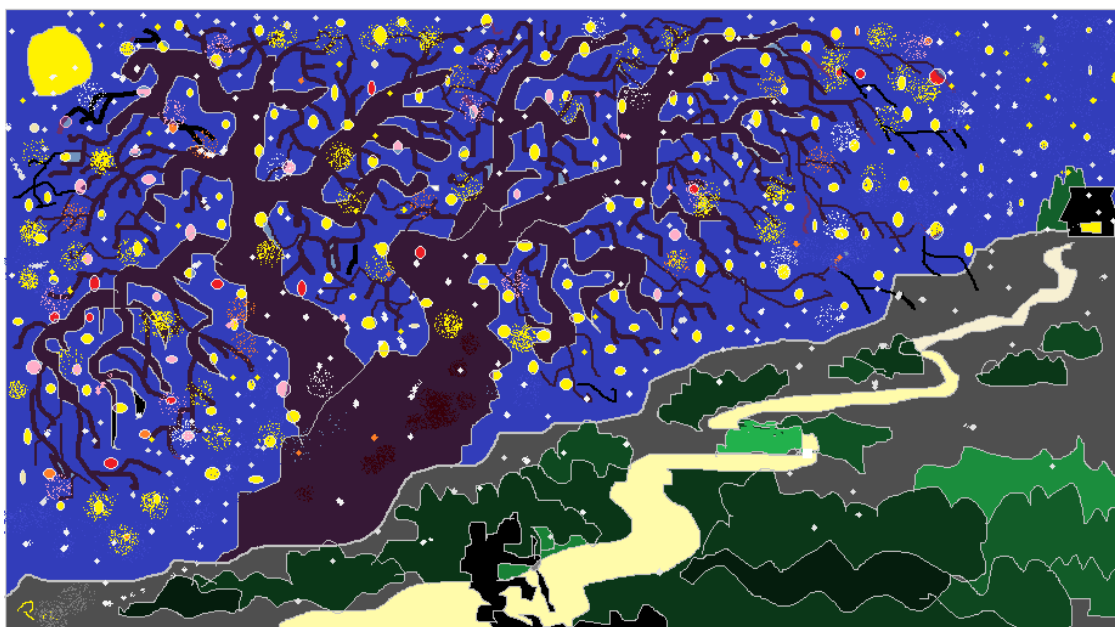
そう、人の悪口を言うよりも、人のいいところを見つけて、ありがとうって言う気持ちでなかよくできる子が素敵だなあと、わたしは思います。

桃五小の皆さんも、いいところさがしをして、たくさん友だちを見つけて、自分のことも人のことも大好きになってみませんか・・・か。

それが、誰もが「元気に、仲良く、楽しく」すごせる桃五小にするための方法かもしれません。

悪いところさがしではなくて『いいところさがし』、できそうですか。

(1年生、2年生が『はい。』と、答えてくれました。)



※もちもちの木、まめ太が自分のいいところに気づいて強い心の大人に近づく話